

令和2年度 調布市立第六中学校 授業改善推進プラン

学校の教育目標	
○自ら学び、考える生徒 ○命を大切にする生徒 ○何ごともしやりぬく生徒	
目指す学校像(ビジョン) 例)学校像, 教員像, 児童・生徒像	
○主体的な学習を通して、確かな学力や自ら学ぶ姿勢を育成する学校 ○安全に配慮した生活を通して、生命尊重や豊かな人間性を育成する学校 ○学習や学校行事等の活動を通して、粘り強い実践力を育成する学校	
ビジョンの設定理由 (本校の現状と課題)	○魅力ある学校づくり(授業の質的向上、各学校行事の活性化、各種検定等の実施) ○特別支援教育の充実(特別支援教室拠点校として校内通級教室の指導の充実、校内委員会の活用) ○地域学校協働本部、PTA、地域の健全育成団体、小学校との連携・協力

教科	目指す学校像(ビジョン)を基にした 育成したい資質・能力	資質・能力を育成するための具体的取組
国語	・基礎的・基本的な知識 ・読む能力	・毎回の授業で、小学校からの漢字の復習を繰り返し行うことで漢字力と同時に読解の基礎となる語彙の数を増やす。 ・教科書教材に関連した多くの文章を紹介することで豊かな思考力を育む。
社会	・思考力・判断力・表現力 ・基礎的・基本的な知識や技能	・授業内容に対して、自分事に落とし込み考えられる問いを設定し、身付けた知識や技能を使用させ答えさせる。 ・生徒全員が知識や技能を身に付けられるよう、ICTの活用などにより、わかりやすい授業の展開を工夫する。
数学	・基礎的・基本的な知識や技能 ・数学的技能を用いた協同的課題解決能力	・毎回の授業の中で演習の時間を確保し、確実に解決力をつけていけるようにする。 ・問題解決のための方法を生徒同士で相談したり共有したりし、理解を深められるようにする。
理科	・思考力・判断力・表現力 ・基礎的・基本的な知識や技能	・実験を行うことで、班員で協力して取り組むことにより、問題解決にあたって思考力や表現力を身に付けさせる。 ・毎回の授業、実験前に、関連のある既習事項を振り返り、身に付けた知識や技能を定着させる。
音楽	・基本的・基礎的な技能 ・表現力	・毎回の授業の中で楽譜から、基本的なことを読み取り、表現するとことにつなげていく。それぞれのパートの音をわかりやすく伝える。 ・一人一人の向上のため、ワークシートの活用。
美術	・思考力・判断力・表現力 ・発想力の向上	・基礎的な技能習得の時間を確保し表現力の向上を図る。また制作の手順をICTの活用によりわかりやすく工夫する。 ・生徒同士の意見交換などを通じ、発想を広げられるように工夫する。
保健体育	・体力の向上 ・運動技能の定着 ・粘り強く学習に取り組む意欲	・補強運動や運動量の確保により、体力の向上を図る。 ・運動量の確保とともに学習資料の活用等により、自己の課題を解決させ、技能の定着を図る。 ・達成感を味わわせ、前向きに取り組む意欲を育む。
技術・家庭	【技術】 ・工夫力の向上 ・粘り強く学習に取り組む態度の育成 【家庭】 ・学習環境の整備 ・粘り強く学習に取り組む態度の育成	【技術】 ・基本的な技能の習得を目指すとともに、工夫のある制作を行っていく。 ・興味を引く題材で、学習に前向きに取り組む姿勢を育てる。 【家庭】 ・全体の授業回数を意識させ、自分たちで見通しをもち学習に臨める工夫をする。特別教室の環境を整え、前時の復習と本時の内容の整理について板書と口頭説明を区別する。 ・進度の早い生徒にはより工夫できる教材を準備し、一人一人に応じた授業内容にしていく。
英語	・「聞く力」「話す力」「読む力」「書く力」 ・読解力・表現力	・4技能に関する基礎的な能力の習得のために、リスニング、教科書の音読・暗唱、ペアワークによる会話練習、文法ドリル、英文読解、英文文等の学習を授業の中でバランスよく行う。 ・スピーチ発表や自己紹介文や自国の伝統・文化の紹介文等の作成など、普段の学習で身につけた力を実際に活用する場面を授業の中で多く設定していく。
道徳	・道徳的な判断力・心情 ・実践意欲と態度	・授業の中で「考えたくなる」「他の人の考えを聞きたくなる」発問を工夫し、自己内対話ができる授業を展開する。 ・「考え、議論する」道徳の授業をとおして、人間としての生き方について自覚を深め、ともによりよく生きようとする意欲や態度を培うように展開を工夫する。